



香川県教育センター 教育ライブラリーだより

第12号 令和6年3月11日

やって来ました。年度末、年度初めという名の一年間で一番あわただしい季節が。
教育書を読んでいる暇はない！というのが現実かもしれませんが、忙中閑あり。読むつमोरの本をちょっと眺めるだけでも不思議と心が休まるものです。
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。
教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日でも利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「授業力&学級経営力 2023年4月号」 (明治図書 2023年4月1日発行)

そろそろ新年度の学級開きが気になるころです。毎年4月には「学級開き」の特集が組まれますが、4月になって考えたのでは遅いかもしれません。昨年度の特集を参考にして、計画してみましょう。「授業力&学級経営力 2023年4月号」の特集では、「理想のクラスづくり、まずはここから」という座談会に始まり、「自己紹介から学級目標作りまで 達人の学級開き」、年度初めにやるべきことのリスト、「子どもが進んで動きたくなる！学級システム」「これだけは必ず身につけさせたい！生活・学習マナーチェックリスト」、「とびっきりの授業開きアイデア」などの内容が盛り込まれています。中学校編もあります。全国各地の達人たちのアイデアが満載されていますので、自分にあったやり方を見つけてはどうでしょうか。新学期が待ち遠しくなるかも。

②「教室に安心感をつくる 勇気づけの学級づくり2」

赤坂真二／著 (ほんの森出版 2011年1月20日発行)

「学校を最高のチームにする極意シリーズ やる気を引き出す全員参加の授業づくり」

赤坂真二／編著 (明治図書 2016年6月発行)

学級づくりに関する著作で定評のある赤坂先生の本です。
企業経営の分野では最近よく「心理的安全性」ということが言われます。社員が生き生きと活動できる会社は生産性が向上するという話ですが、学校や学級も同じです。いや、それ以上です。主体的対話的な深い学びなど、お互いの発言が受け容れられる安心感のある集団なくしてはありえません。子どもたちがのびのびと活動し成長するために安全安心は不可欠です。ではどうすれば安心感のある学級がつかれるのかという問いに、具体的かつ懇切丁寧に答えてくれるのが「教室に安心感をつくる」です。主に小学校を想定しての内容かと思いますが、中学・高校でも考え方は同じです。読んでいるだけで心が温かくなってきます。

授業において安心感をもたせながらやる気を引き出す指導の考え方やポイントを指南してくれるのが「やる気を引き出す全員参加の授業づくり」です。具体的な実践事例もわかりやすく、試行して失敗してしまったときのリカバリー法まで教えてくれる親切さ。小学校編と中学校編の2冊があります。

③「文学の力×教材の力」(小学校編1年～6年 全6巻)

田中実・須田千里/編 (教育出版 2001年3月16日発行)

小学校国語科文学教材の指導のヒントがたくさん。文学教材で研究授業を予定している現職の教員の方に人気のある本です。日々の国語の授業のさらなる充実や、子どもたちの実態に即した指導案作成を考えている方！ 一度手に取ってみてください。

各巻（学年）の収録作品と執筆者					
学年	作 品	執筆者	学年	作 品	執筆者
1 年	おおきなかぶ おおきなかぶ お手がみ お手がみ くじらぐも くじらぐも たぬきの糸車 たぬきの糸車 ゆきの日のゆうびんやさん ゆきの日のゆうびんやさん サラダでげんき サラダでげんき	中村 三春 汐見 稔幸 跡上 史郎 足立 悦男 阿毛 久芳 深川 明子 秋枝 美保 竹内 隆 友重幸四郎 戸田 功 大塚 美保 岩永 正史	4 年	一つの花 一つの花 ごんぎつね ごんぎつね 白いぼうし 白いぼうし やい、とかげ やい、とかげ とっときのとっかえっこ とっときのとっかえっこ あ・し・あ・と あ・し・あ・と	黒古 一夫 村上 呂里 鈴木 啓子 松本 修 鶴谷 憲三 難波 博孝 田村 嘉勝 松山 雅子 石川 巧 山元 悦子 大塚 常樹 三好修一郎
	「本道に還る」ということ 私の最初の文学体験	宮原 修 磯貝 英夫		総合学習と国語・文学教育 学習材に新風を	小野 牧夫 倉澤 栄吉
2 年	かさこじぞう かさこじぞう スイミー スイミー アレクサンダとぜんまいねずみ アレクサンダとぜんまいねずみ わにのおじいさんのたからもの わにのおじいさんのたからもの スーホの白い馬 スーホの白い馬 きつねのおきやくさま きつねのおきやくさま	小林 広一 鶴田 清司 川村 湊 中西 千恵 渥美 孝子 丹藤 博文 高橋 龍夫 加藤 憲一 関谷由美子 木下ひさし 鷺 只雄 望月 善次	5 年	大造じいさんとガン 大造じいさんとガン 雪わたり 雪わたり 注文の多い料理店 注文の多い料理店 わらぐつの中の神様 わらぐつの中の神様 五月の初め、日曜日の朝 五月の初め、日曜日の朝 木竜うるし 木竜うるし	猪狩 友一 佐野 正俊 石川 則夫 牛山 恵 松元喜久代 府川源一郎 古郡 康人 牧戸 章 原 善 内藤 一志 山崎 一穎 藤原 和好
	教師の DNA では、時枝誠記や吉本隆明 を読み直してみよう	浅井 清 亀井 秀雄		言葉の力、あるいは読むと いうこと 表現障害一口を閉じる子どもたち	佐藤 泰正 竹内 敏晴
3 年	おにたのぼうし おにたのぼうし ちいちゃんのかげおくり ちいちゃんのかげおくり モチモチの木 モチモチの木 つり橋わたれ つり橋わたれ のらねこ のらねこ わすれられないおくりもの わすれられないおくりもの	田中 実 佐藤 学 渡辺 善雄 中村 哲也 平野 芳信 橋本 博孝 宮越 勉 成田 信子 細谷 博 長谷川 峻 小林 幸夫 大槻 和夫	6 年	やまなし やまなし 海の命 海の命 川とノリオ 川とノリオ きつねの窓 きつねの窓 ヒロシマのうた ヒロシマのうた 田中正造 田中正造	花田 俊典 須貝 千里 林 廣親 渋谷 孝 神谷 忠孝 浜本 純逸 上田 渡 塚田 泰彦 原 仁司 住田 勝 後藤 康二 森本 真幸
	文芸批評・文学研究・国語授業 書き言葉は不滅・自分が感銘し ない文章は教室に持ち込むな	加藤 典洋 杉山 康彦		文学を教えるということ 虚構（文芸）の比喻	石田 忠彦 西郷 竹彦

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	3月号	【特集】楽しく力がつく！国語あそびベストセレクション ◇言葉あそび ◇漢字あそび ◇語彙あそび ◇音読・朗読あそび ◇文の書き方あそび 【特別寄稿】「国語に関する世論調査」の結果からみる国語科の課題 ～言葉の間違いや分からない言葉、略語に対する反応 【連載】小学校・中学校国語教育の実践情報
社会科教育 (明治図書)	3月号	【特集】今すぐ使いたくなる！社会科 ICT&AI 活用アイデア ◇社会科 ICT&AI 活用の手立て ◇教師のための ChatGPT 入門 社会科編 ◇社会科授業づくりで役立つアプリと活用アイデア ◇ICT で変わる社会科授業 明日すぐ使える実践アイデア ◇社会科 ICT&AI 活用時のトラブル対応術
数学教育 (明治図書)	3月号	【特集】場面・目的別“考えたくなる”発問テクニック40 ◇問題を把握させる場面 ◇問題解決の見通しをもたせる場面 ◇自力解決・個人思考を支援する場面 ◇考えをつなぐ場面 ◇考えを整理する場面 等
理科の教育 (東洋館出版社)	3月号	【特集】コロナ禍が契機となった理科の研修・研究の変化 ◇オンラインを活用した理科教育研究の推進 ◇自治体や研究団体によるオンライン研修・研究の活用事例 ◇学校や個人によるオンライン研修の活用事例 【連載】◇生徒をひきつける観察・実験 探究モーター ◇教材の隠し味 成功率が上がる細胞分裂の観察
英語教育 (大修館書店)	3月号	【特集1】授業づくりの効率化アイデア ◇授業づくり効率化のための「レッスンデザイン」チャート ◇Google Workspace for Education で、手間なく教材をフル活用！ ◇生成 AI・オンラインツールを活用した授業づくりの効率化 【特集2】故郷のおふくろさんに語る 英語リーディングの科学 ◇眼球運動測定を用いた複数文章読解プロセスの解明 ◇英語学習者による物語の多様なつながりの理解 ◇読めても解けない英文読解問題の謎 ◇英文読解に必要な知識・理解とは？
道徳教育 (明治図書)	3月号	【特集】あの先生の道徳授業探訪記 ◇雰囲気づくりから指導のポイントまで丸わかり！ ・発問・問い返して子どもの心を動かす 加藤宣行先生の道徳授業 ・テーマをもった発問で深い学びにつなげる 幸阪創平先生の道徳授業 ・哲学対話で子ども主体の授業をつくる 町田晃大先生の道徳授業 等 ◇今でも忘れない！あの先生の道徳授業探訪記 ・教師の実感から作られた道徳授業 ・道徳のチカラ中学の至宝 山中太の公開授業 【書評】◇道徳授業の個別最適な学びと協働的な学び ◇哲学対話の道徳授業 問いと対話で子ども主体の授業を実現する一冊

授業力&学級経営 力 (明治図書)	3月号	【特集】主体的な子どもが育つ教室環境デザイン ◇自治的な学級に育つ教室デザイン 3つの鉄則 ◇教室環境&教室掲示の工夫 ◇学習環境&指導アイデア ◇「環境調整」の基本 ◇学年末の教室掲示&アイデア ◇学級開きの掲示アイデア
生徒指導 (学事出版)	3月号	【特集】次年度のための「生徒指導の引き継ぎ」 ◇「引き継ぎ」を見直す ◇引き継ぐべき7つの情報ポイント ◇これからの小学校・中学校間の引き継ぎの在り方 ◇引き継ぎ資料を生かして、コミュニティづくりを支える ◇移行期における学校間連携の充実のために 【巻頭インタビュー】子どもの権利を学ぶための学校現場の役割とは 【特別企画】生徒の主体性を育む教育 全国の中学・高校が取り組む「校則見直し」と「手帳の活用」 【連載】◇ライブ講義「私的」教育相談入門 教育相談の目指すもの ◇新しい提要、新しい生徒指導 多様な背景を持つ児童生徒の生徒指導 ◇学校での危機管理について学ぶ 謝罪学 ◇押さえておきたい毎日の生徒対応 授業中、遊ぶ生徒の対応が難しい
教職研修 (教育開発研究所)	3月号	【特集1】未来の管理職が「育つ」学校へ ◇教師が「ミドルリーダー」に成長するしかけ ◇チャレンジを楽しむスクールリーダーになる ◇ミドルの「やりたいことへの挑戦」をどうサポートするか 【特集2】災害、感染症…教育活動が予定どおり進まない！ ◇学校と地域をつなぐ防災教育を ◇2023年、学校を襲った災害とそこから学ぶべきことは ◇鳴門市の学校教育におけるフェーズフリーの推進 ◇次の感染症への備え 【連載】◇学校お悩み相談室 現場の声をどうやったら国に伝えられる？ ◇スクールロイヤーと考える学校経営 学校でのクラウドファンディング ◇教育委員会の役割を考える 「無謬性神話」からの脱却
初等教育資料 (東洋館出版社)	3月号	【特集1】持続可能な社会の担い手の育成 ◇「海と生きる」まちの未来を担う子どもたちに育むリテラシー ◇総合的な学習の時間における持続可能な社会の担い手の育成に向けた学習活動 — 第5学年「みんなしあわせ大作戦！」の実践を通して 香川県高松市立牟礼南小学校教諭 高木夏世 【特集2】〔体育〕運動遊びの学習指導の改善・充実 ◇論説・解説 ◇座談会・鼎談 ◇事例 【連載】シンポジウム「保育の基本を考える」
中等教育資料 (学事出版)	3月号	【特集】高等学校における資質・能力の育成に向けた教育活動の充実 ＜家庭、情報、総合的な探究の時間、特別活動＞ 【連載】◇窓 奇跡的な避難の背景にあるもの ◇教育小景 子供たちに豊かな感動体験を ◇世界の教育 環境で変わる子どもの可能性 ◇GIGA スクール環境と1人1台端末を活用した「授業を持ち歩く」環境

実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	3月号	【特集】 ひらがな・カタカナを中心に 読み書きの習得の基盤となる力を育む支援 ◇ひらがな・カタカナの習得の基盤となる力とは ◇読み書きに必要な要素から考えるひらがなの指導 ◇アセスメント結果を生かした学習目標と支援内容の設定 【連載】 ◇教材づくりからスタート！コンナンデ自立活動 タオル ◇ダウンロード&印刷して使える！アート教材 おかしなストーリー作り ◇生成 AI は知的障害児者の福音となるか？ ◇私の指導 あり？なし？ あなたに寄り添う伴奏型相談所シーズン3 ◇放課後等デイサービスの有効活用 進路先や就職先のミスマッチを起こさないために
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	3月号	【特集】 ウェルビーイングの向上を目指した教育実践 ～ 特別支援教育の「これから」を描く！ ～ ◇論説 ◇実践 ◇当事者から ◇実践解説・対談 【連載】 ◇情報解説 東京都で導入されている『特別支援教室』とは ◇自立活動 「心理的な安定」の項目を含む実践 ◇教科別の指導における「できる状況づくり」小中学校特別支援学級編 ◇特別支援教育における ICT 活用に今後期待すること/渡邊茂一 ◇特別支援学級及び通級指導教室を担当する教員のサポートに関する調査研究/山中ともえ ◇図書「知的障害特別支援学校のカリキュラム・マネジメントと単元研究」
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	3月号	【特集1】 子どもにおくるメッセージ ◇いつでも話を聞いてくれる大切ともだち ◇ウソでも本当の物語 ◇魚は苦手だけど、すしは好き!? ◇ワクワクやドキドキを大切に ◇心のふるえを伝えたくて ◇図書館は世界地図 ◇厚い本は苦手です 【特集2】 読書感想文コンクール入賞作品 【連載】 ◇図書館の情報を伝える～広報活動のデジタル化
高校教育 (学事出版)	3月号	【特集】 これからの普通科高校 ◇管理運営上の課題は何か ◇普通科高校・新課程への2年目の対応状況 ◇高大接続における新たな大学入試の在り方 ◇就職問題・キャリア教育の実態 ◇これからの学校と教育の在り方 ◇北海道の未来を担う人材を育む普通科教育の実現 ◇普通科伝統校をどう改革するか ◇生徒の主体性を喚起する普通科の実践 橋本和之(香川県立三本松高校) 【緊急企画】 「令和6年能登半島地震」と高校 【巻頭インタビュー】 「闇バイト」から生徒を守る 【連載】 ◇ちょっと学校訪問 山口県立周防大島高等学校 ◇「探究」を探究する 教育委員会が推進するデジタル×探究/田村学
学校事務 (学事出版)	3月号	【特集】 どんな仕事にワクワクしますか？ ◇全国の事務職員の皆さんの仕事に対する思いは？ ◇主語を自分にしてみよう。 ◇「はい！ よろこんで」！？ 【巻頭企画】 学校の働き方改革と事務職員のワークライフバランスの両立 【特別企画】 緊急レポート (第1次) 「令和6年能登半島地震」と学校 【連載】 ◇つくろう！事務室だより

	2023年4月発行『就学援助制度』がよくわかるリーフレット」 ◇共同実施で他校の事務職員を救えますか？ ◇今月の書評 『学校がウソくさい』 『境界知能の子どもたち』
指導と評価 (日本教育評価研 3月号 究会)	【巻頭言】学習評価の実務上の困難打開に役立つシリーズ 【特集1】評価の目的－形成的評価と総括的評価×妥当性・信頼性 【特集2】子どもの性被害／性加害 【連載】◇目標標準評価を教育に生かす（社会科の評価） ◇読解力の育成（小学校）－説明的文章の系統指導 ◇算数科で育てる「思考・判断・表現する力」－立方体の展開図 ◇子どもを真ん中に置いた支援－非行少年に対する家庭裁判所と学校の連携 ◇漢字を教える・学ぶ－教室と家庭での漢字の学び